

RYOBI

集じん機

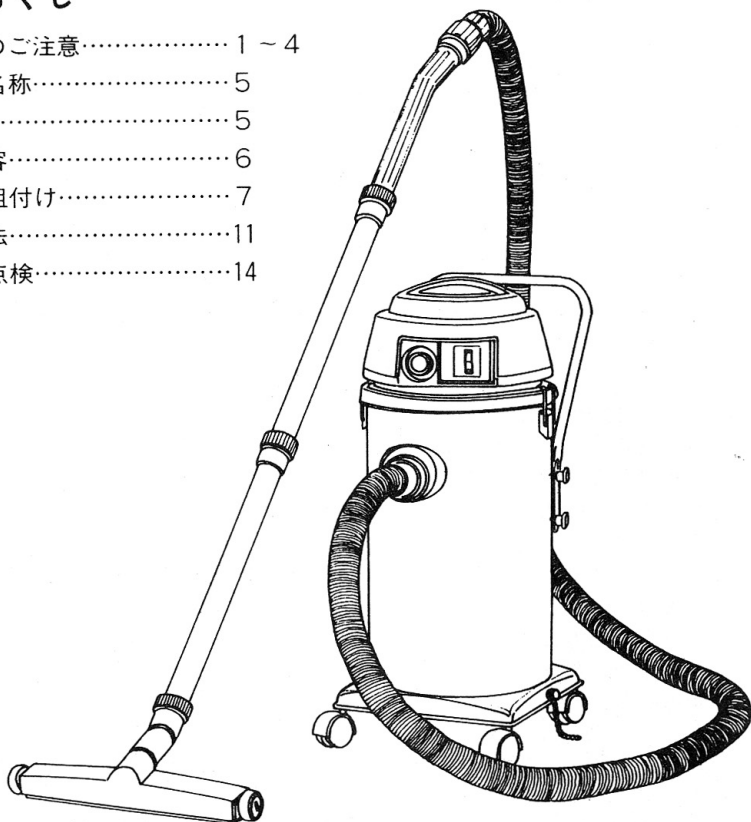
VC-201

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

- ・安全上のご注意…………… 1～4
- ・各部の名称…………… 5
- ・仕様…………… 5
- ・梱包内容…………… 6
- ・各部の組付け…………… 7
- ・使用方法…………… 11
- ・保守と点検…………… 14



このたびは、リョービ集じん機をお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読み
ください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく、安全にご使用
くださるようお願いいたします。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部に表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。

なお、**△注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性
があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想
定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内
容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

[注]：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず
守ってください。
- 使用前に、これらすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用してく
ださい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してくだ
さい。



警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所は事故などの原因になります。
2. 作業をする場所の周囲状況も考慮してください。
 - 雨中で使用したり、水を被るような場所では使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - 使用中は、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、機械やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または錠のかかる所に保管してく
ださい。



警 告

6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、機械の能力に合った状態で作業してください。
7. 作業に合った機械を使用してください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、吸い込み口や可動部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・作業の場合には、状況に合わせてゴム手袋やゴム底の、絶縁性が高く滑り止めの付いた保護具の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護メガネを使用してください。
 - ・作業時、粉じんの多い作業では保護メガネや防じんマスクを使用して、身体を保護してください。
10. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って機械を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。
11. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
12. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、機械は常に手入れをし、また使用の都度、溜まった粉塵などは捨てるようにして、よい状態を保ってください。
 - ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買求めの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長(継ぎ)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリスが付かないようにしてください。
13. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または、修理、点検する場合。
 - ・部品などを交換する場合。
 - ・その他、危険が予測される場合。
14. 不意な始動は避けてください。
 - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
15. 屋外使用に合った延長(継ぎ)コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長(継ぎ)コードを使用してください。



警 告

16. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れているときは、使用しないでください。
17. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、各部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した部品の交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
18. 純正部品を使用してください。
 - ・この取扱説明書およびリョービカタログに記載されている純正部品以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
19. 機械の修理は、専門店で依頼してください。
 - ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

集じん機ご使用上のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警 告

1. 使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 雨中などでの使用はしないでください。
ウェット(湿)&ドライ(乾)両用タイプですが、防水構造ではありません。
モーター部が濡れるような使い方をされますと、モーターの絶縁低下、感電事故や錆発生の原因となります。
3. 引火の恐れのある揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)や化学薬品、薬剤類の吸い込み、および周辺での使用は引火爆発の原因となりますので絶対にしないでください。



警告

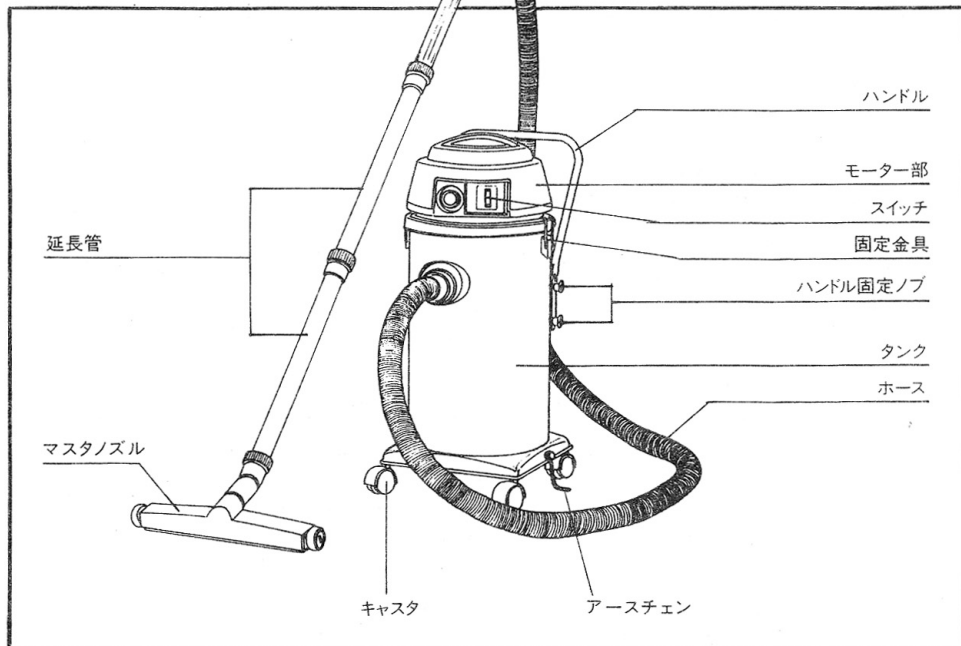
4. 集じん機が使用中に転倒した時は、ただちに電源を切り、機体を立て直してください。
5. ウエット(湿)使用時に、吸い込んだ水がタンクの規定量を超えると、中のフロートが作動して吸い込まなくなります。
ただちにスイッチを切ってタンク内の水を取り出してください。
なお、フロートが作動して水の吸い込みが止まっても、モーターは回転したままの状態となっています。
6. フィルタやノズル類は常に手入れをし、また使用の都度溜まった粉塵などは捨て、よく吸い込む状態で使用してください。
7. ご使用前には、必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないでください。



注意

1. ウエット(湿)使用時に、フィルタを付けたままで吸水をされますと目詰まりをおこします。
ウエット(湿)時は必ずフィルタを外してください。
また、ドライ(乾)使用時にフィルタなしで乾燥粉塵を吸い込みますと、バキュームブロワ部に粉塵が侵入し、効率低下を起こします。
これらは、モーターの過負荷運転から故障などの原因となります。
2. タンク内に溜まったものは、運転終了後すぐに取り出してください。
放置しておくと、悪臭やカビ、錆の原因となります。

■各部の名称



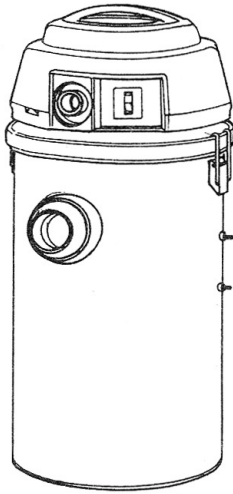
■仕様

モデル	VC-201
電源	単相100V・50Hz/60Hz
定格電流	13A
消費電力	1,100W
無負荷回転数	22,500rpm
吸込仕事率	220W
風量	2.5m ³ /min
真空度	2,300mm/Aq
タンク容量	30ℓ(ドライ20ℓ, ウェット18ℓ)
ホース内径	38mm
ホース先端パイプ径	外径40mm / 内径33mm
コード長さ	5m
機体寸法	(幅)330×(奥行き)400×(高さ)730mm
重量	8.5kg

■用途

- 木くず、コンクリートくず、油、鉄くずなどの吸引(集塵)。(危険物以外のもの)の吹き寄せ(ブロワ)。

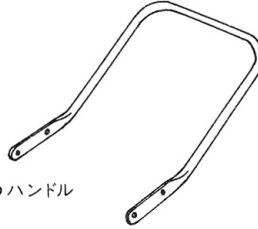
■ 梱包内容



● 本体(モーター部、タンク)



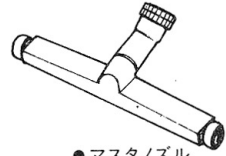
● ハンドル 固定用ノブ



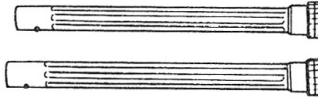
● ハンドル



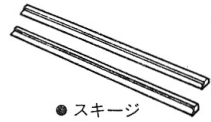
● 丸ブラシ



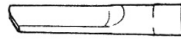
● マスタノズル



● 延長管(外径40×内径33×長さ550mm)



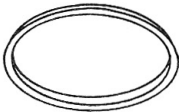
● スキージ



● スキマノズル



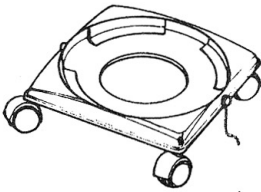
● ブラシ



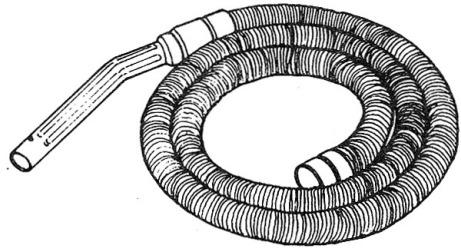
● ゴムリング



● フィルタ(本体付)



● キャスタ

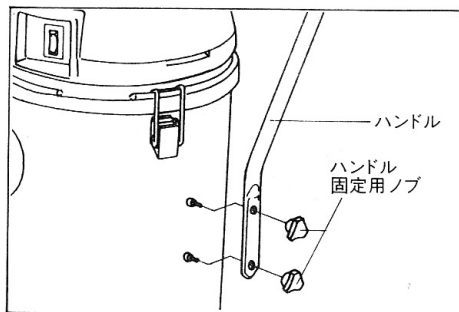


● ホース(φ38×3m)

■各部の組付け

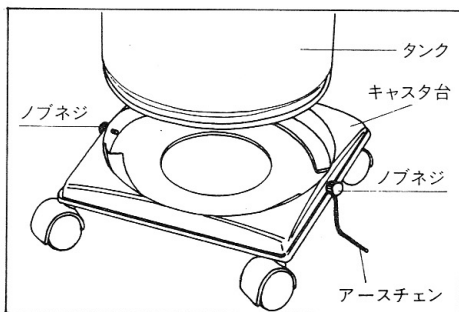
●移動用ハンドルの取付け

- 本体タンク横にあるハンドル取付けボルトから、ハンドル固定用ノブを外します。
- ハンドルの向きに注意して、ハンドルの穴にハンドル取付けボルト(4ヶ所)を通します。
- 固定用ノブを締付けて、ハンドルを固定します。
4ヶ所とも均等に締付けて固定してください。



●キャスタの取付け

- キャスタ台の2ヶ所のノブネジをゆるめたのち、キャスタ台にタンクの底を合わせて入れます。
確実に入れてから、ノブネジを締付けて固定します。

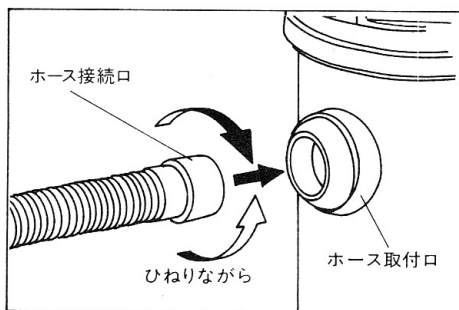


注 意

- ・アース用のチェンは必ず取付けて、外さないで下さい。

●ホースの接続と取外し

- ホースを本体に接続。
本体のホース取付け口に、ホースの接続口を合わせ、左右いずれかにひねりながら差し込みます。
- 本体からホースを取外す。
外すときは、プラスチック筒の部分を持って逆の要領で左右にひねりながら引っ張り、抜き取ります。





注 意

- ・ 取付け口、接続口ともテーパ状になっています。
摺り合わせて、確実に取り付けてください。

● ホースと延長管の接続。

ホース先端のパイプ部分の突起2ヶ所を延長管のダイヤル側の溝に合わせ、差し込みます。

奥まで入れた後、ダイヤルを+（プラス）方向にまわしロックします。

延長管を継ぎ足す時も、同様に突起と溝を合わせて差し込み、ダイヤルを+（プラス）方向にまわしロックします。

● ホースと延長管の取外し。

取外すときは、ダイヤルを-（マイナス）側にまわしてロックを解除したのちに、反対方向に引いて分離します。

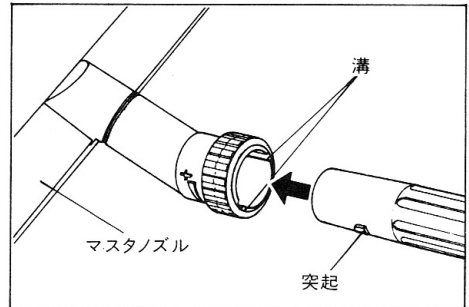
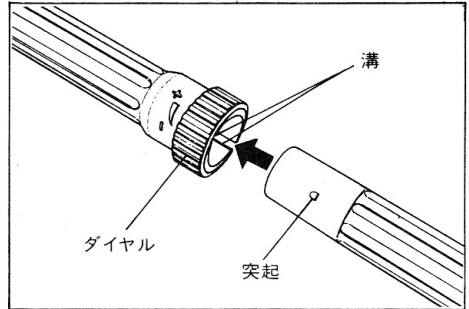
● ノズルの取付け

● マスタノズル

延長管同様に、マスタノズルのダイヤルの付いた取付け口の溝に、延長管の突起を合わせて差し込みます。

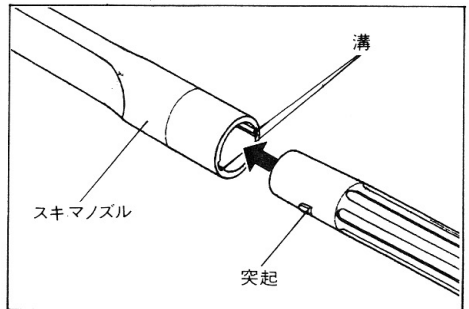
つぎに、ダイヤルを+（プラス）側にまわしロックします。

取外しは逆の要領でおこなってください。



● スキマノズル

スキマノズルの取付け口の溝に、延長管の突起を合わせて差し込み接続します。



注 意

- ・ 溝と突起が合っていないと、使用中に抜けることがあります。
必ず位置を合わせ、確実に取り付けてください。

●丸ブラシ

丸ブラシの取付け口に、延長管を合わせて差し込み、取付けます。

(丸ブラシに溝はありません。)

●マスタノズルのウエット(湿)&ドライ(乾)切換え

●マスタノズルはウエット(湿)で使用する時と、ドライ(乾)で使用する時とで部品を交換する必要があります。

スキージはウエット(湿)で使用するときに、ブラシはドライ(乾)で使用する時に取付けてください。

●マスタノズル吸込み口、内側の矢印表示側のローラー軸を⊖マイナスイヤバを使って取外します。

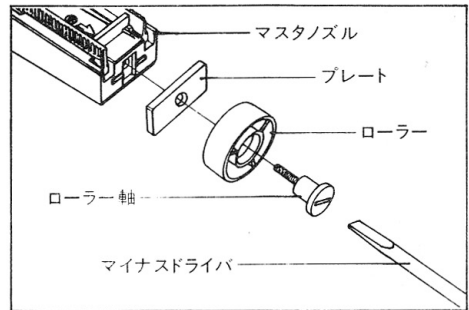
プレートを外した後に、マスタノズルの2本の溝に通してあるスキージまたはブラシを、開口側へスライドして抜き取ります。

取り替えるスキージまたはブラシを、抜き取りと逆の要領で2本の溝に通します。

2本とも同じものを取付けてください。また、スキージは波打っている側を外側へ向けてください。

●プレートを取り付けの際、マスタノズル側の凸の線とプレート面の溝を合わせてください。

その後、ローラーをローラー軸で取り付けます。

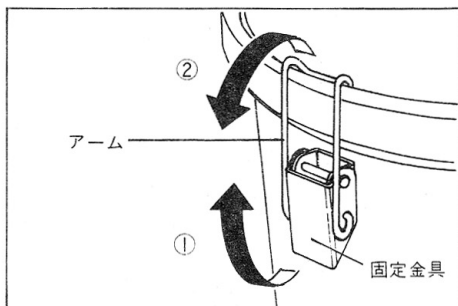


●フィルタの脱着とウエット(湿)&ドライ(乾)の切換え

●フィルタはドライ(乾)で利用するときのみ使用します。

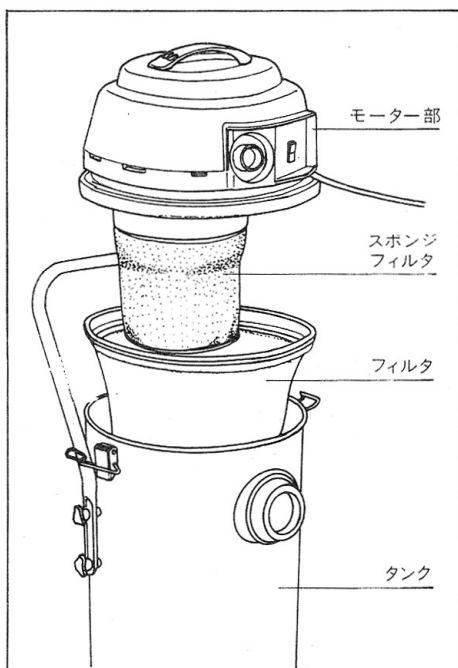
●フィルタの脱着

本体側面、2ヶ所の固定金具のレバーを起こしアームを開きます。



モーター部(バキュームブロー部)上の取っ手を持って、上に持ち上げます。タンク外周上に乗っているゴムのリングを持ち上げると一体となったフィルタが持ち上がり、取り外せます。

●フィルタに付いたホコリなどは、静かにはたいて目詰まりを除去してください。また、時々スポンジフィルタの汚れも点検し、汚れがひどいときは、きれいにしたのち使用してください。乱暴に扱わないでください。



注 意

・タンク内に溜まったゴミなどの量を確認し、約1/2~1/3になったら取り出してください。

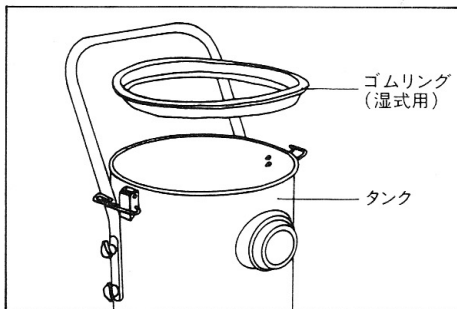
- フィルタを取付けるときは、ゴムのリング部分を持ちフィルタを静かにタンク内に収めます。
- ゴムのリング部をタンク外周に正しく合わせてから、モーター部（バキュームブロウ部）を乗せ、先にゆるめていた固定用アームを掛けた後、レバーを下げて固定します。
2ヶ所とも均等に掛かるようにしてください。
- ゴムリングの脱着

ウェット（湿）でお使いになるときは、必ず付属のゴムリングを使用してください。（フィルタは使いません。）

フィルタの脱着のときと同様に、モーター部を外した後にフィルタを取外し（フィルタに付いているゴムのリング部に換え）、湿式用のゴムリング（付属品）を装着します。

装着は均等にタンクの上に乗るようにしてください。

モーター部を固定金具で取り付けた後、片寄りがないことを確認してください。

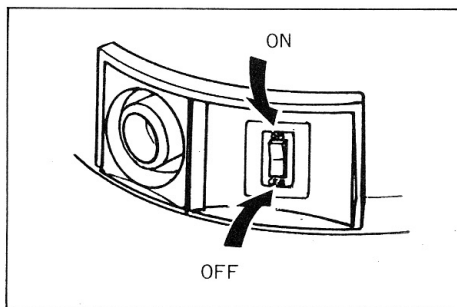


■使用方法

1. 電源の接続とスイッチの操作

ホース、ノズルを取り付けた後、スイッチが切れていることを確認してから、電源コード先のプラグ部を電源コンセントに差し込みます。

スイッチはシーソー型スイッチです。上側を押すと「ON(入)」となり、下側を押すと「OFF(切)」となります。



2. ドライ(乾)

必ずフィルタを装着してから運転をしてください。

使い易い長さに合わせて延長管を付けてください。

細かい所では、ホースの先に直接ノズルを付けても使用できます。

状況に合わせ、マスタノズル、丸ブラシ、スキマノズルを使い分けてください。



注 意

- ウェット(湿)で使用された直後など、タンク内が濡れている時は、中の濡れを拭き取るなど、一度水滴を取り除き乾燥させてから使用してください。
濡れたまま使用されますと、粉塵などが内部に貼り付き、汚れが取れなくなることがあります。

3. ウェット(湿)

必ずゴムリングを装着して(フィルタを外し)運転してください。

使い方はドライと基本的には同じですが、タンク内に溜まった液体の量に注意してください。

(約1/2で取出してください。)

また、使用の際は、必ずキャスト部のアース用チェンを床面に接触するよう、垂らしてください。

吸い込んだ液体がタンクの約1/2程に溜まったら、速やかに中の液体を取り出してください。



警 告

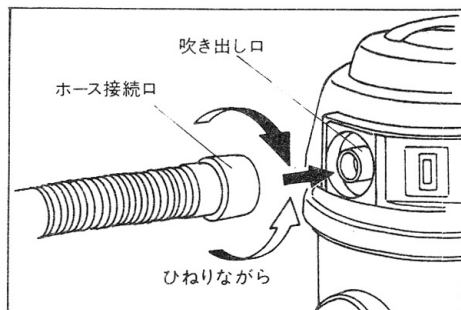
- ・安全のため、ゴム製の手袋やゴム底の長靴を着用して、感電事故のないようご注意ください。

4. ブロウとしての使用

ホースを、モーター部の吹き出し口に付けることによりブロウとしてもご利用いただけます。

ホースを本体の取付け口から取り外し、モーター部の吹き出し口に合わせて差し込みます。

ホース先端にスキマノズルを取り付け、スイッチを入れるとスキマノズルの先から勢いよく風が吹き出します。



注 意

- ・ 粉塵の多い作業では、目を保護する保護メガネや防じんマスクを着用してください。

■ 保守と点検

- 使用後は、内部に溜まったものを取り出してください。
また、フィルタに付いたホコリなども取り除いてください。
- 各部にネジのゆるみや異常がないか点検してください。
- ホースやノズルはいつもきれいにしておいてください。
ホースやノズルを水などで洗った後は、よく乾かしてください。
- ハンドル、モーター部、タンクなどは布などで汚れを拭き取りいつも清潔に保ってください。
モーター部には、水を掛けないでください。防水構造ではありません。また、金属部についても同様、錆が発生しないよう水を付けたままにしないでください。
防錆油を塗布するなど心掛けてください。
揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでは洗ったり、拭いたりしないでください。
- 保管は直射日光の当たらない涼しいところで、落下などの恐れのない安定したところとしてください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

*改良のため、お断りなく製品仕様が変更ことがあります。

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社